

契約書レビューに パートナーとなるAIを。

株式会社LegalForceについて

株式会社LegalForceは、リーガルテックの会社です。現在はビジネスのあらゆる場面で行われている「契約」に焦点を当て、契約書のレビューや作成を支援するシステム「LegalForce」を開発しています。

LegalForceは「契約書自動検査機能」、「条文検索機能」、「類似契約書推薦・比較機能」を搭載しています。これらの機能を画面と合わせて紹介します。

契約書自動検査機能

6件のアラート、8件の抜け落ち

秘密情報の返還
第4条 (秘密情報の返還)
乙は、本契約終了後又は甲から要請があったときは、開示、提供された秘密情報のうち原本が返還可能なものについてはその複製物の一切を、速やかに甲に返還しなければならない。原本及び複製物の返還が不能なものについては、甲の承諾を得て廃棄、消去等必要な措置を講じ、その旨を証する書面を提出しなければならない。

救済手段
第5条 (救済手段)
乙は、秘密情報が甲にとって著しく重要な意義及び価値を有することを十分認識し、かかる情報の性質ゆえに、秘密情報の取扱いに関して差止め請求その他甲による作為・不作為を命ずる裁判所の決定・命令等に服することに同意する。

警告
秘密情報の処分又は返却の際、廃棄証明書の発行が義務付けられていますが問題ありませんか？

修正文例
修正の方針: 廃棄証明書の発行を義務を定める条項部分を削除する。

要確認
開示者の請求により秘密情報の使用差止めを請求できる旨定められていますが、これを削除する必要はありませんか？

修正文例
修正の方針: 差止めについて定める条項部分を削除する。

- 契約書ファイルをアップロードし、契約書の種類（類型）や自社の立場を入力すると、わずか1秒で不利な条文や欠落条項を指摘します。

契約書条文検索機能

検索キーワード: 秘密情報

検索結果

第4条 (秘密情報の返還)
乙は、本契約終了後又は甲から要請があったときは、開示、提供された秘密情報のうち原本が返還可能なものについてはその複製物の一切を、速やかに甲に返還しなければならない。原本及び複製物の返還が不能なものについては、甲の承諾を得て廃棄、消去等必要な措置を講じ、その旨を証する書面を提出しなければならない。

第5条 (救済手段)
乙は、秘密情報が甲にとって著しく重要な意義及び価値を有することを十分認識し、かかる

- 契約書をレビュー・作成をしていると、過去の契約書を参照するケースが多くありますが、現状は探すのに時間がかかっています。
- 検索キーワード（例: 条タイトル、契約書名）を入力すると、関連する条文を検索・表示します。

類似契約書推薦・比較機能

似ている契約書

秘密保持契約書
Drafted by ZeLo. all rights reserved.

第1条 (秘密情報の定義)
本契約において秘密情報とは、媒体及び手段（専用回線による通信、光ファイバーステック、印刷物等）の如何を問わず、甲が乙に開示、提供した、又は将来において開示、提供される技術、営業、人事、組織その他の事項に関する一切の情報を意味する。

【ZeLo_Model】秘密保持契約_一方開示_開示側有利.docx
サイズ: 21.7 KB (22,187 バイト)
最終更新日時: 2019/03/26 16:07

似ている契約書の差分をハイライトしています。

似ている契約書
秘密保持契約書 株式会社 (以下「甲」といふ。)

- 何度も契約をしている会社とは過去に締結した契約書との差分を確認するだけで良い場合があります。
- 類似契約書を推薦し、差分を取ることが可能です。

Wordアドイン

WordのメニューバーとLegalForceのアドインが重なって表示されている様子。

- 法務では通常Microsoft Wordを用いて契約書を作成します。
- Microsoft Wordから検査や検索機能を機能を利用することが可能です。

LegalForce R&D Zoo

LegalForce R&D Zooとは？

LegalForceの研究開発部門では、**契約書言語処理**を中心とした**データに関わる要素技術の研究、及び開発**を行っています。

そこで、研究開発の要素技術を社内外で広く知ってもらうとともに、各々のメンバーも楽しく、モチベーションを高く研究開発に取り組めるように、技術を動物と紐付けた**LegalForce R&D Zoo**を立ち上げました。

契約書言語処理の特徴

○ **しやすい点**

▲ **難しい点**

- 契約書の種類ごとにある程度記述パターンが有る
- 誤解がないようなるべく正確に書かれる
- 甲、乙などの主語は省略されないため、日本語特有のゼロ照応解析の問題が減る
- 論文が殆ど無い
- データが公開されていない
- 契約書特有の用語が出てくる
- 契約書特有の構造がある
- 契約書の知識がある人がラベル付しなければいけない
- 正解が人によって違う

LegalForce R&D Zooの動物たち

LegalForce R&D Zooの動物は現在18種類です。今後も動物を増やしていき、技術を通してユーザーに価値を届けていきます。

検索



条文検索



文書検索



類似文書推薦

レビュー



検査



校閲



差分比較

テキスト分類



文書分類



条ラベリング



言語認識

テキスト構造化



文書構造解析



文分割



情報抽出

データ変換



Word変換



PDF変換



OCR

基盤



アノテーション基盤



評価基盤

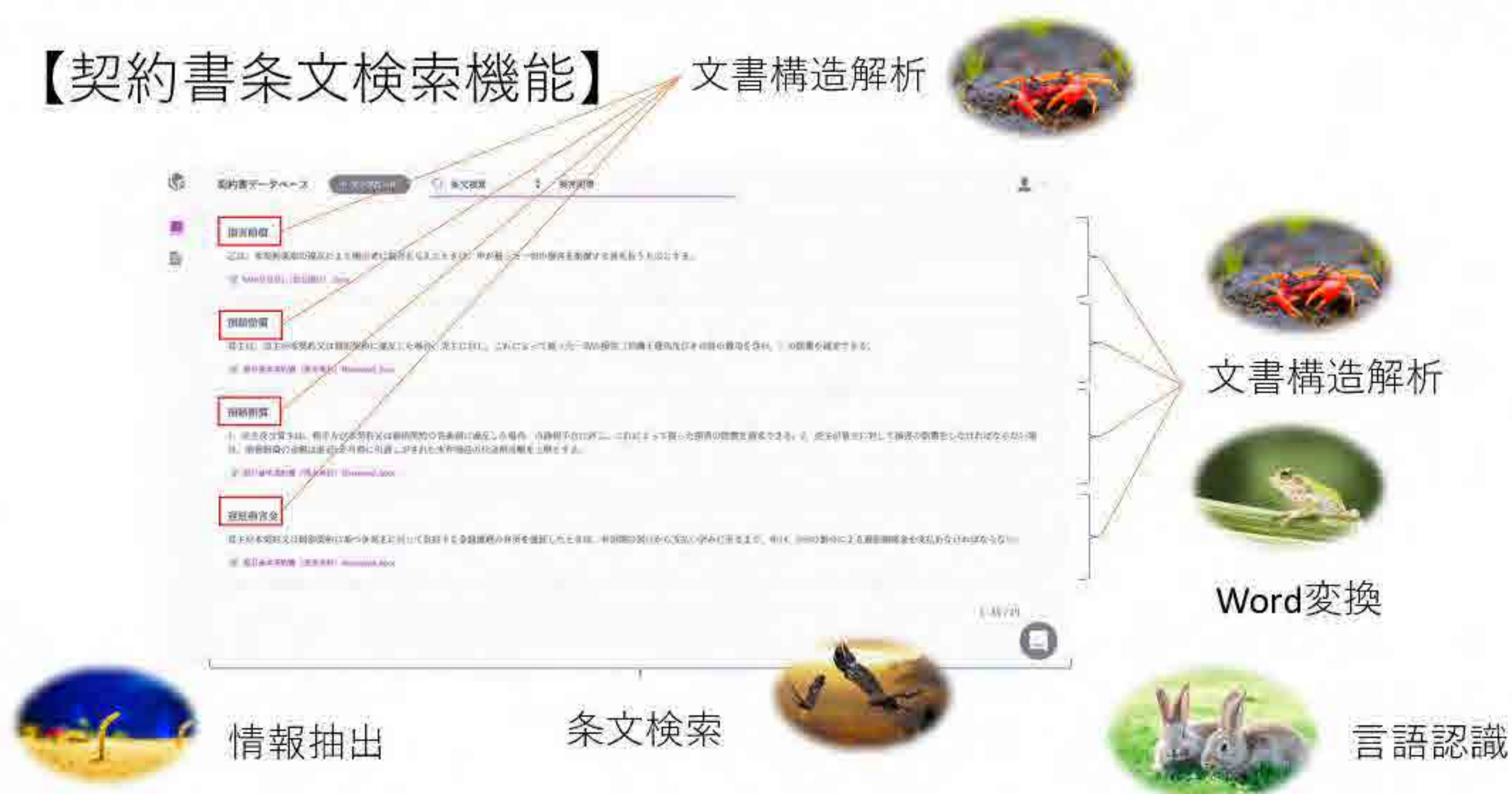


データ基盤

実際のサービスにおける技術の利用

研究開発を通じた開拓技術は実際にLegalForceの中で使われています。

【契約書条文検索機能】



【契約書検査機能】





LegalForce の3つの開発組織

LegalForce の開発では3つの組織が一つとなって開発を進めています。

LegalForce
Design & Development
製品開発



LegalForce
Research & Development
研究開発



LegalForce
Practice Development
法務開発



CTO 直轄のもと、エンジニアとデザイナーが共創するチーム。ユーザーが触れるクライアントサイドとそれに付随するサーバーサイドを開発します。

UX スタディとビジネス要件を実装可能な仕様に落とし込み、スクラムを導入して短期間での開発サイクルを実践しています。

法務におけるビジネス価値創出を目的に、データの収集や蓄積、分析、可視化など、あらゆるデータに関わる取り組みを行っています。具体的には、データ基盤やアノテーション基盤の構築、自然言語処理や機械学習などを用いた Web API 構築、BI ツール構築、更には論文執筆や学会発表などを通じた技術発信も行います。

全組織で最もユーザーに近く、法務経験者や弁護士を中心としたチームです。

ユーザーが LegalForce を用いて真に実務を向上させるための支援と、サービスの開発企画、そして法改正や実務の潮流などに基づく法務知識の収集・更新・管理を担っています。

LegalForce の利用技術・ツール

LegalForce で用いている技術やフレームワーク、ライブラリ、ツールをご紹介します(製品開発と研究開発で使っている技術は異なります)。

プログラミング言語	JavaScript TypeScript python
フロントエンド関連	webpack
バックエンド関連	RAILS Flask Tornado FastAPI
数値計算・解析	NumPy matplotlib
機械学習	PyTorch TensorFlow mlflow CORE
ETL	fluentd dlogdag embulk
DevOps 関連	git GitHub circleci docker kubernetes Terraform sider
ミドルウェア	NGINX MySQL redis elasticsearch
クラウド	aws Google Cloud
監視系	mackerel SENTRY DATADOG
BI/ログ解析	kibana Lucidchart
コミュニケーション等	slack Lucidchart

技術顧問

LegalForce では3名の技術顧問の方々を招聘し、それぞれ Ruby 言語、自然言語処理、形式検証技術等に関わる技術支援を頂いています。



まつもと ゆきひろ
(通称: matz)
プログラミング言語 Ruby 開発者
一般財団法人 Ruby アソシエーション
理事長、ほか肩書多数



森 信介
京大大学術情報メディアセンター
情報学研究科知能情報学専攻兼担



末永 幸平
京大大学大学院情報学研究所
通信情報システム専攻 准教授

エンジニア募集中！！

LegalForce では下記のような職種で募集を行っています。たくさんの応募をお待ちしております。

- ・フロントエンドエンジニア
- ・Python / Ruby バックエンドエンジニア
- ・研究開発エンジニア
- ・自然言語処理エンジニア
- ・インフラエンジニア
- ・SRE/DevOps エンジニア
- ・データ基盤 / 機械学習基盤構築エンジニア



QR コードから
求人の詳細を確認できます。